授業科目	共生社会とジェンダー					実務家教員担当科目	○
単位	1	履修	選択	開講年次	2	開講時期	前期
担当教員	倉富　史枝						
授業概要	実務家教員として、男女共同参画社会やハラスメントや性暴力の根絶などのテーマでワークショップを実施している経験を踏まえて、保育士を目指す学生が社会や学問に存在する性差に関わる既成概念や諸問題について学び、性別にとらわれない共生社会のあり方を考えられるようにアクティブラーニングを実施する。また、国籍、人種、障害の有無などに関わらず多様な人々との共生をジェンダーの視点から総合的に捉え、女性が自立的に社会参画に関する問題を理解し、課題解決の方策を考えるようにする。その上で、自分自身が人間らしく誇りをもって働くために、ワーク・ライフ・バランスを軸として生涯にわたる発展的な「ライフキャリア」を構築していく道筋について探っていく。						
授業形態	講義 グループ学習			授業方法			

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	1．現代社会におけるジェンダーをめぐる諸問題を理解している。 2・ジェンダーをめぐる問題を自分の生き方や保育と結びつけて、学問や社会への批判的な視点を獲得する。 3．自分の意見を述べること、他者の意見を聴くこと、他者から学ぶこと、ができる。 1．ジェンダーと共生社会の概念について基本的な知識を理解している。 2．講義の内容について、他の人に説明することができる。
理想的レベル	1．ジェンダーと共生社会の概念に関する知識をよく理解し、これからの女性のあり方を主体的に考えることができる。 2．講義の内容について、他の人に正確に説明できる。

評価方法・評価割合		
評価方法	評価割合（数値）	備考
試験		
小テスト		
レポート	40%	
発表（口頭、プレゼンテーション）	40%	
レポート外の提出物	10%	
その他	10%	

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	－	DP3	－	DP4	－	DP5	－	ナンバリング	CH10305J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）
復習：当該部分の復習	1

授業計画	
第 1 回	テーマ：性別役割分業意識にとらわれない保育 ジェンダーの概念を「ドラえもん」を使ってグループで意見を交換する。保育指針にある性別役割分業意識にとらわれない保育を事例から考える。

第 2 回	テーマ：メディアが作るジェンダー意識 性的指向と性自認について学び、性的少数者を理解する。LGBT や性別役割分業に関しての表現をテレビドラマ、歌詞、CM などを材料にグループで分析し、よりよい表現を考える。
第 3 回	テーマ：生物学的違いを考える 子育て期の親からの相談に対して、どのように回答するかを考える。それぞれの回答に対して、意見を交換する。
第 4 回	テーマ：性の商品化 子どもの権利条約や女子差別撤廃条約を理解し、「JK ビジネス」「援助交際」が子どもと女性の権利を侵害していないかをグループで意見交換する。
第 5 回	テーマ：災害とジェンダー 被災時や防災において、ジェンダーによる偏りがどのような問題をもたらすか、どうすれば問題を解決できるかをグループで話し合う。
第 6 回	テーマ：女子差別撤廃委員会からの勧告 国連から日本への女性差別に関しての勧告は何度もなされているが改善がされていない。その現状を理解し、何が課題かをグループで話し合う。
第 7 回	テーマ：共生社会に向けて 6 回までの授業を振り返り、性別にとらわれない共生社会の実現を阻んでいる課題が何かをグループで考える。課題の中から何が最も問題かを話し合い、その課題に対してどのような解決策があるかを話し合う。
第 8 回	テーマ：未来新聞の作成 課題が解決したらどのような社会になるかを具体的にイメージする。その未来の様子を新聞記事の形で文章にして、グループで新聞を作成する。最後に、グループごとに発表し意見交換する。
第 9 回	
第 10 回	
第 11 回	
第 12 回	
第 13 回	
第 14 回	
第 15 回	
テキスト	適宜資料を配布
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	伊藤公雄他『女性学・男性学　～ジェンダー論入門　（第３版）』有斐閣、2019 年

課題に対するフィードバックの方法	レポートの内容については、授業の中で指示します。 その他については、授業への積極的な参加を評価します。
学生へのメッセージ・コメント	高校の現代社会や世界史、日本史の知識 先進国の中では、日本はジェンダーの縛りが強い社会です。新聞やネットのニュースでもジェンダーの問題やセクハラの問題などは取り上げられています。日頃から、何か変だなという感覚を大事にして、個人的な体験にある社会的な原因を考えるようにして、主体的な生き方を選び取ってください。